

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者
大分市副市長 久 渡 晃
~~大分市長 佐藤 樹一郎 殿~~

所在地 大分市猪野 1294-1
団体名 親子体操教室
代表者氏名 平川 妙子
電話 097-523-3021
担当先

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 13 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 4 年 9 月 1 日 |
| 交付決定番号 | 協働第 914 号 |
| 2. 事業名 | 親子体操教室 |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 260,378 円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 260,378 円 |
| 5. 補助金の精算額 | 260,378 円 |
| 6. 事業の成果 | |

運動することが楽しく、喜んで教室に参加する親子が増えた。運動好きな子どもが育った。また、親子のスキンシップを深める遊びをたくさん取り入れたので、親子関係もより密接になったものと思われる。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)活動目標に関する報告書
(4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） ちらしの作成、ホームページでの呼びかけなどを実施した。 また、卒業生の保護者にはがきで行事や見学会の案内を送り、呼びかけてもらった。 保育園や幼稚園に頼んで、チラシやポスターを添付して呼びかけてもらった。 大在教室は、5月に見学会を実施して、呼びかけた。</p> <p>今年度行った広報の効果 ブログを見たとの連絡があり、生徒獲得につながった。 幼稚園で聞いたと言って、見学に来てくれ、入会してくれた。 卒業生の保護者に聞いたという保護者が見学会に来てくれた。 見学会に参加して、入会してくれた。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>教室に参加することで、身近な友人ができた。教室以外での活動も生まれ、地域の行事や地区の幼稚園等の子育て支援活動に参加するきっかけになった。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>まず、第一に挙げられるのは、子育てに悩む若いお母さんに仲間を作ってあげられるという点である。幼稚園入園前のお母さんや子どもたちが仲間を作り、孤独からの育児ノイローゼを防ぐことができたと考えている。 また、適切な運動遊びを提供することで、将来どんなスポーツにも親しめる運動好きな子どもを育てることができた。実際にその後、サッカーや陸上などで活躍する子どもが多数育っている。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>① 体育館や公民館の確保が難しく、固定した会場と時間を確保することができなかった。 ② 生徒数が減少している。どうすれば確保できるかが今後の課題である。</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	親子体操教室			
事 業 名	親子体操教室			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p> <input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】 <input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】 <input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】 <input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】 <input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】 <input type="checkbox"/> 明野【明野】 <input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】 <input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】 <input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】 <input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】 <input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】 <input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】 <input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】 <input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 </p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等)	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	2022年 4月 ～	①南大分レ ジック (南部公民 館) ②明野 レジック (明治明野 公民館)	①6名の小 学生、幼児 とその保護 者 (6人×3回 ×12ヶ月) ×2 432 ②14名の小 学生、幼児 とその保護 者 (14人×3 回×12ヶ月) ×2 1,008	親子体操教室を大分市内で、3教室主宰した。 各クラス、月3回実施した。 教室の内容としては、たくさんの楽しい運動(マット・ボール・なわとび・リズムダンスなど)と、手遊びなどの保育的な遊びを取り入れて実施した。特に、親子のふれあいを密にするカリキュラムを多数取り入れた。また、季節の行事(遠足・サマーレクリエーション・クリスマス会・節分など)を多数取り入れることで、お母さん同士、子ども同士の親睦をはかり、家族や仲間、地域と密着した子育てを支援する場を提供した。 およこ体操(2歳～就園までの幼児)・レジック(幼稚園児～小学4年生)の2つの教室を展開することで、運動好きな子どもを育てる役割を果たした。
※別紙添付可		③大在およこ&レジック (大在公民館)	③5名の小学生、幼児とその保護者 (5人×3回×10ヶ月) ×2 300 1,740	

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： 親子体操教室

1 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
補助金収入	260,378	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	725,000	2,500円×6組×12ヶ月=180,000円 2,500円×14組×12ヶ月=420,000円 2,500円×5組×10ヶ月=125,000円
事業収入		
寄附金収入		
その他	39,573	団体会計より
合計	1,024,951	

2 【支 出】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
報償費	636,000	12,000×3人=36,000 6,000×1=6,000 16,000×1人=16,000 30,000×1人=30,000 20,000×1人=20,000 (有償ボランティア) 108,000 18,000×11ヶ月×2人= 396,000 12,000×1ヶ月×2人=24,000 6,000×12ヶ月= 72,000 3,000×12ヶ月=36,000 (対象外) 528,000
旅費		
消耗品費	167,907	本代 インク代 CD代 ボール なわとび等材料費
燃料費		
食糧費		
印刷製本費	24,000	コピー代として
通信運搬費	14,254	はがき代 切手代
広告料		
保険料		
手数料・委託費		
使用料・賃借料	182,790	公民館使用料
修繕費		
備品購入費		
合計	1,024,951	(内、補助対象経費 496,951)

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

ブログやチラシなどで会員を増加させる取り組みを行ったが、なかなか会員増にはつながらなかった。来年度も、ポスターやチラシ、マルコポーロ(大在地区地域情報誌)への掲載、ブログなどいろいろな情報を発信し、会員獲得に努めていきたい。次年度は、コロナ禍でも実施できる内容を工夫し、更にブログ等で発信していきたいと考えています。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人 (延べ人数)

(2) 今年度の受益対象者数 人 (延べ人数)

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

① 赤ちゃん連れでも安心して参加できるように、託児スタッフを配置した。

② コロナでできる事が少なくなっている今だからこそ、子どもやお母さんたちの居場所にしたいと考えている。

③ ブログの更新を増やし、会員増につなげたい。